

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科
科目名称 [英語名称]	博物館概論 [Museology]				実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング
科目コード	710100	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	安井 雄一郎				学位授与の方針 との関連	DP1(1)	
授業概要	<p>博物館とは、人文学、自然科学のすべての学問を含むヒトの歴史から自然史までの全ての事象をいくつかの分野に切り分け、それぞれの分野において専属の学芸員を置き、当該分野で指定されたテーマを対象に調査研究・収集保管・公開(展示・展覧会)等の活動をおこなうとともに、それらの成果を時代の記録として後世に伝えていく専門施設のことを言う。またそこで働く専門職を学芸員という。</p> <p>しかし、博物館と一言で言うその有り様は、人文学から自然科学まできわめて広く多様である。またそこで活動する学芸員も、人文系博物館と自然史系博物館の学芸員では相手にする資料もその方法論もこれまた多様である。</p> <p>そこで本講では、それらの多様な博物館類から私が関わった美術系博物館、すなわち美術館を取り上げ、学芸員としてつとめた地方美術館での32年間の実体験を踏まえながら調査研究、収集保管、展示公開という博物館の三大要件の美術博物館での実践例、活動のかたわら定点観測的にみてきた九州・山口地域における美術館の実状等々を美術館紹介もまじえながら概説する。人文学系と自然科学系で専門領域は異なるが、これから学芸員をめざす学生諸氏にとって何らかの役にたてば幸いである。</p>						
関連する科目							
授業の進め方と方法	春休みの期間中に集中講義形式で進める。						
授業計画	<p>I 部 美術館(美術博物館)とは？</p> <p>①美術館(美術博物館)とは？</p> <p>②はじめ学芸員は「雑芸員」だった～70年代を思う～</p> <p>II 部 九州・山口の美術館～概説</p> <p>③九州・山口の美術館～新生とげられるか大分県立美術館</p> <p>④九州・山口の美術館～なぜ学芸員不在、宮崎県立美術館①</p> <p>⑤九州・山口の美術館～なぜ学芸員不在、宮崎県立美術館②</p> <p>⑥九州・山口の美術館～指定管理者制度と美術館①</p> <p>III 部 美術とは、美術史とは</p> <p>⑦モチーフとは、絵とは①</p> <p>⑧絵画の近代を作った西洋絵画①</p> <p>⑨絵画の近代を作った西洋絵画②</p> <p>IV 部 美術博物館の学芸員として誰(美術家)を、何(美術資料)をどう顕彰してきたか</p> <p>⑩洋画家・香月泰男①</p> <p>⑪洋画家・香月泰男②</p> <p>⑫洋画家・松田正平①</p> <p>⑬洋画家・松田正平②</p> <p>⑭高鍋大師①</p> <p>⑮高鍋大師②</p>						
授業の到達目標	<p>①博物館とは何をめざす専門施設なのか理解を深める。</p> <p>②博物館ではたらく学芸員について理解を深める。</p>						
授業時間外の学修	可能なら日程を改め、近隣の博物館施設を訪ね、展覧会等を見学するなり、その博物館の学芸員にレクチャーをお願いし、学生諸氏が博物館や学芸員に対して理解や関心を深めてもらう機会をもちたい。						
課題に対するフィードバック	授業中に小レポート1本、授業終了後に大レポート1本を書いてもらう。レポートは採点後、所感を書き添えて返却予定。	評価方法		小レポート30点、大レポート70点で採点。その総合点を成績とする。			
テキスト	基本的には使わない。スライドを中心に授業を進めていく。						
参考書	<p>①香月泰男画集 生命(いのち)の讃歌(平成16年・小学館)</p> <p>②香月泰男 シベリヤ画文集(平成16年・中国新聞社)</p> <p>③凍土の断層 香月泰男<シベリア・シリーズ>を読み解く(平成29年・東京美術)</p> <p>④評伝 飄逸の画家 松田正平(令和2年・みすず書房)</p> <p>※直接の参考書ではないが授業のなかで言及する画家のなかで特に詳しく取り上げる美術家に関する書。①、②は共著。③、④は単著(自著)。購入までする必要はないが、図書館等で目を通してもらうと、絵をみるときのヒントになると思う。とくに③の『凍土の断層』は一読を勧める。</p>						
備考							